「人形劇のまち飯田」の季刊情報誌

Dogushi

胴串 -どぐし-

Spring 2016

Vol.13

特集

観て、創って"わくわく"体験

いいだ人形劇センター年間イベントスケジュール

Dogushi Vol.13
2016年4月発行　発行:「人形劇のまち飯田」運営協議会
制作:NPO法人いいだ人形劇センター 〒395-0044 長野県飯田市本町1-2 TEL050-3583-3594 FAX0265-52-3594 E-mail:iida-puppet-c@mis.janis.or.jp

掲示板　いいだ人形劇センターからのお知らせ

新年度会員募集中!

NPO法人いいだ人形劇センターは、センターの目的と活動にご理解、ご賛同いただき、活動を支援していただける平成28年度の会員を募集しています。

正会員・賛助会員（いずれも個人・団体）にお申込みいただきますと会員特典として、季刊情報誌『Dogushi』や公演・イベントなどのお知らせを随時配信させていただくほか、公演チケットの割引販売、会員相互のネットワークを構成します。皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

<年会費>

正会員5,000円
（企画を提案できます。総会での議決権あり）

賛助会員1口2,000円
（活動を財政面から支えていただきます）

●問合せ:いいだ人形劇センター
●TEL:050-3583-3594
●URL:iidapapecen.com
「入会案内」メールフォームからお申込みいただけます。

Dogushi

並木さんぽ

昨年10月より飯田人形劇場を会場に開催する「人形劇定期公演」。地元の市民劇団に"人形劇場"で上演してもらうこと、さらに市民の皆さんに"人形劇場"で観劇してもらうことを目的に続けること6回。これまでに14劇団が上演しました。5月から8月はお休みしますが9月から再開します。ぜひ、多くの方にご来場いただき、創作に取り組む市民劇団の活動を応援してください。

次号は7月発行予定です。（帆）

表紙イラスト:井原千代子

View of IIDA

台湾の伝統人形劇「布袋戯」の遣い方を学ぶ講座が開催されました。講師のチャンチンホイさん（布袋劇団 著微）が素早い動きと繊細な動き、まさに静と動を巧みに遣いわける技を披露すると受講者からは感嘆の声。基本の手の型を教えてもらいながら繰り返し練習すること数時間。受講者の皆さんは「やればやるほど楽しい」と、夢中になって挑戦していました。

人形劇わかる!! 用語

『上手（かみて）・下手（しもて）』

役者の上手（じょうず）・下手（へた）というのもありますが、本日は舞台の左右の話し。

客席から舞台を見て右側が上手、左側が下手です。語源は諸説あるようです。舞台上に家を置く場合など、古典では下手に玄関を置くことがほぼ決まりとなっています。つまり上座であるところの家の奥は上手側になりますので、このあたりってのがわかりやすい説。落語では身分の低い人を演じている時に上手を見て話し、身分の高い人を演じている時には下手を見て話をするようです。

欧米では、下手を「ステージライト（stage right）」＝舞台右と表現し、上手を「ステージレフト（stage left）」＝舞台左と表現します。これは客席に向かっている役者さんからの見方ですね。観客側から舞台を見る演出家などはややこしい気分になりそうですが、まあ慣れなんでしょうね。

（人形芝居燕屋 くすのき燕）

特集

観て、創って〝わくわく〟体験

いいだ人形劇センター年間イベントスケジュール

人形劇公演はもちろん、初心者向けの人形劇講座や巨大人形劇プロジェクト、人形操作、美術制作などのワークショップ、季刊情報誌の発行など、平成28年度もいいだ人形劇センターはさまざまな〝体験のタネ〟がいっぱい。ぜひ予定に入れてご参加ください。

4月

●基礎レッスン【有料】
4月～通年 飯田文化会館ほか
人形劇・演劇の経験者対象。即興表現、身体・発声訓練、脚本の読み解きなど舞台にかかわる人のための基礎づくり

●巨大人形劇プロジェクトin南信州【有料】
4月20日(水)～24日(日)、6月下旬、7月下旬～8月上旬
チェコを拠点に世界で活躍する人形劇師・沢則行氏を講師に、井伏鱒二著『山椒魚』を題材にした巨大人形劇を制作

●季刊情報誌『Dogushi』春号発行 4月下旬

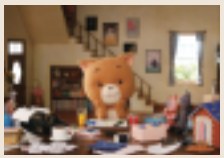
●アニメーション上映会
5月3日(祝)～8日(日)川本人形美術館
上映作品／「こまねこのおるすばん」「想いを結ぶ飯田水引」

●トコトコ人形づくり体験
5月5日(祝)川本人形美術館
ウレタンでトコトコ歩く人形を作って遊ぼう
材料費／300円

●人形劇講座初級コース【有料】
5月12日(木)～9月上旬 飯田文化会館ほか
初心者対象。作品選びから人形づくり、上演までを体験

●人形劇講座中級コース・前期【有料】
5月中旬～9月上旬 飯田文化会館ほか
飯田市で創作活動が可能で、新作に取り組みたい劇団対象

●人形劇を上演したい人のための人形劇公演
5月15日(日) 飯田文化会館
小中高校で人形劇制作に取り組む生徒、アマチュアの市民劇団に向けたワークショップ付きの人形劇公演。一般の方にもおすすめ。
出演／人形劇団ぱんび「からから山の天狗さん」ほか


©TYO/dwarf・こまねこフィルムパートナーズ

5月

●人形劇の相談所
5月24日(火)～6月21日(火)の毎週火曜
いいだ人形劇フェスタ上演に向けて人形劇制作に取り組んでいる方のためによろず相談所を開設。9月以降は随時開催

●三人遣いワークショップ
6月4日(土) 川本人形美術館下
今田人形座を講師に伝統人形芝居の操演方法「三人遣い」を体験

●人形劇in竹宵まつり
6月4日(土) 川本人形美術館下
「竹宵まつりーキャンドルナイト」開催にあわせ、江戸の灯りで楽しむ人形劇公演
出演／今田人形座「伊達娘恋緋鹿子・火の見櫓の段」

●森のかみしばい劇場【有料】
7月3日(日) かざこし子どもの森公園
飯田下伊那の紙芝居・読み聞かせグループによるジョイント公演

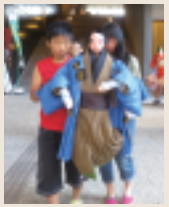
●いいだ人形劇フェスタ「プレフェスタ」
7月下旬 市内各所

●季刊情報誌『Dogushi』発行 7月下旬

●いいだ人形劇フェスタ2016
8月2日(火)～7日(日)飯田市内全域 特集「関西の人形劇」
[いいだ人形劇センター企画]
・愛知人形劇センター×いいだ人形劇センター共同制作
『リア王』からシェイクスピアが笑う夜」
・沢則行監督 巨大人形劇プロジェクトin南信州『さんしょううお』
・「人形劇の図書館」による資料展示・講演会 ほか

●夏休みアニメーション上映会
8月中旬 川本人形美術館

●ダンボールししまいワークショップ【有料】
9月上旬～10月 川本人形美術館エントランス
獅子を舞う男・後藤渉さんを講師にダンボールで獅子の頭をつくり、舞を練習。10月16日「南信州獅子舞フェスティバル」の創作獅子舞コンクールに出場



6月

●人形劇in竹宵まつり
6月4日(土) 川本人形美術館下
「竹宵まつりーキャンドルナイト」開催にあわせ、江戸の灯りで楽しむ人形劇公演
出演／今田人形座「伊達娘恋緋鹿子・火の見櫓の段」

●森のかみしばい劇場【有料】
7月3日(日) かざこし子どもの森公園
飯田下伊那の紙芝居・読み聞かせグループによるジョイント公演

●いいだ人形劇フェスタ「プレフェスタ」
7月下旬 市内各所

●季刊情報誌『Dogushi』発行 7月下旬

●いいだ人形劇フェスタ2016
8月2日(火)～7日(日)飯田市内全域 特集「関西の人形劇」
[いいだ人形劇センター企画]
・愛知人形劇センター×いいだ人形劇センター共同制作
『リア王』からシェイクスピアが笑う夜」
・沢則行監督 巨大人形劇プロジェクトin南信州『さんしょううお』
・「人形劇の図書館」による資料展示・講演会 ほか

●夏休みアニメーション上映会
8月中旬 川本人形美術館

●ダンボールししまいワークショップ【有料】
9月上旬～10月 川本人形美術館エントランス
獅子を舞う男・後藤渉さんを講師にダンボールで獅子の頭をつくり、舞を練習。10月16日「南信州獅子舞フェスティバル」の創作獅子舞コンクールに出場

●人形劇定期公演【有料】
9月上旬 飯田人形劇場

●せかいの劇場vol.4【有料】
9月29日(木) 飯田人形劇場
海外の優れた作品を飯田で鑑賞する特別企画
出演／クレドシアター
「お父さんのすることはいつもよし」(ブルガリア)

●人形劇講座中級コース・後期【有料】
9月上旬 飯田文化会館ほか
飯田市で創作活動が可能で、新作に取り組みたい劇団対象

●人形劇定期公演【有料】
10月下旬 飯田人形劇場

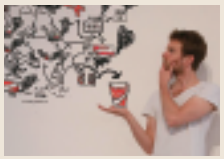
●季刊情報誌『Dogushi』発行 10月下旬

●人形劇in丘のまちフェスティバル
11月3日(祝) 川本人形美術館
1回の上演約1分、定員2名。
日本でいちばん小さい人形劇の公演
出演／P.ことり座

●秋の夜長を楽しむ人形劇公演【有料】
11月8日(火) 飯田市鼎文化センター
秋の夜長にじっくりと人形劇を楽しむ大人向け公演
出演／Performing Group「TRASTed」(ドイツ)

●森のぽかぽかクリスマス【有料】
12月4日(日) かざこし子どもの森公園
人形劇公演、クリスマスリース&ピザづくりが楽しめるファミリー向け企画
出演／人形芝居ひつじのカンパニー「キナコちゃんとダンス!!」

●人形劇定期公演【有料】
12月中旬 飯田人形劇場



12月

●ましゅ&Keiのクリスマス会【有料】
12月23日(祝) 川本人形美術館
ましゅ&Keiがゲストとともに繰り広げるスペシャル企画

●初春を寿ぐ竹田人形館【有料】
1月7日(土) 竹田人形館
初春にふさわしい人形芝居の連続公演
出演／竹田人形座竹の子会ほか

●人形劇定期公演【有料】
1月下旬 飯田人形劇場

●基礎レッスン特別編【有料】
1月下旬～2月中旬 飯田文化会館
3月上演の人形劇団むすび座「父と暮らせば」の台本を読み、作品の理解を深める

●季刊情報誌『Dogushi』発行 1月下旬

●いいだ人形劇まつり「りんごっこ劇場」【有料】
2月上旬 飯田下伊那のアマチュア劇団による公演

●保育士人形劇研修発表会【有料】
2月中旬 飯田市公立保育園保育士による研修発表公演

●せかいの劇場vol.5【有料】
2月18日(土)飯田人形劇場
海外の優れた作品を飯田で鑑賞する特別企画
出演／ミクロポティウム「STOP!」(ハンガリー)ほか

●人形劇定期公演【有料】
2月下旬 飯田人形劇場

●春の人形劇まつり【有料】
PART① 人形劇定期公演
3月上旬 飯田人形劇場
PART② 飯田子ども劇場×いいだ人形劇センター共同企画
3月11日(土) 飯田人形劇場
出演／人形劇団むすび座「父と暮らせば」
PART③ 春休み特別公演
3月中旬 川本人形美術館
小さなお子さんから大人まで楽しめる作品を上演

●…人形劇公演 ●…ワークショップ ●…その他

※日程や内容は変更になる場合があります。最新情報はお電話にてお問い合わせいただくか、いいだ人形劇センターのウェブサイト、フェイスブックをご覧ください

シリーズ

人形劇に取り組む子どもたち❷

飯田市の小中学校では多くの子どもたちが人形劇活動に取り組んでいます。これは全国的に珍しく“人形劇のまち飯田”ならではの特色です。子どもたちが取り組む人形劇活動の様子を紹介するシリーズの2回目は、「山本小学校日本語教室　劇団シェイ・シェイ」を取り上げます。

3月上旬、飯田市山本の二ツ山団地集会所で人形劇公演が行われました。出演は山本小学校日本語教室劇団シェイ・シェイ。作品は「三びきのこぶた」です。中国語をまじえたあいさつで会場の雰囲気を盛り上げると、セリフははっきりと大きな声で人形の動きもダイナミック。場面転換もタイミングよく、一生懸命に練習を重ねてきたことがわかります。

いいだ人形劇フェスタで上演していますが、子どもたちの家族にもっと観てもらおうと出前公演を計画し、毎年3月に行っています。この日は佐藤鴻翔（こうしょう）君の祖父母が客席の一番前に座り、にこにこと笑顔で観ていました。

「大家好! みなさん、こんにちは」中国語を交えたあいさつで上演がスタート

人形劇の指導にあたる今村幸子先生は平成21年、日本語教室の講師になって間もなく劇団シェイ・シェイを立ち上げました。「日本語教室に通う子どもたちは日本語が得意でなく、家では親や祖父母とは中国語で話すため、クラスで声を発することが少ない。そんな内気な子どもに人形を持たせると自然と言葉が出てくる。人形劇を通じて表情豊かになり、クラスメートとも親しくなれた」と話します。

日本語教室に通う子どもが減ったことから、平成27年度をもって山本小学校日本語教室は幕を閉じることになり、同時に劇団シェイ・シェイも7年の活動に終止符を打つことに。子どもたちを笑顔にし、自信を持たせた人形劇。今村幸子先生はこれまでを懐かしく振り返るとともに、今後もこの経験を生かして教育現場に携わりたいと話してくれました。

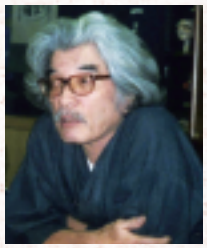
上演前、舞台裏でスタンバイする子どもたちに「セリフを間違えてもいいからね。大きな声で元気に上演するんだよ」と声をかける今村幸子先生

上演が終わりほっとした様子で祖父母に人形を見せる佐藤鴻翔君

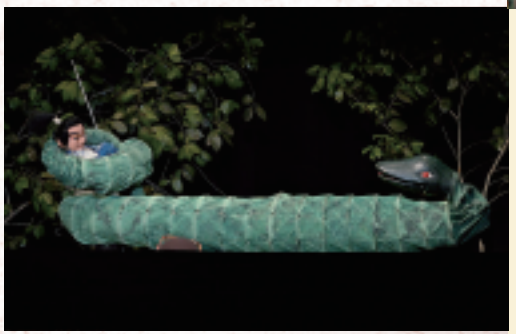
すべての道は飯田へ通ず　第2回

年寄は人形に拘るのです

人形劇場たけのこ　池原由起夫



人形劇カーニバル飯田は全国の人形劇人が飯田に集うという画期的なものでした。そういう面白い事を考えるのが得意なのは、ひとみ座の宇野小四郎さんでした。カーニバルの第1回目にあたり、西畑（さいばた）人形という伝統人形芝居を継承している私に、宇野さんが更に魅力的な話を持ちかけました。下黒田諏訪神社の黒田人形の舞台で西畑人形を演じるというもので、他の人形座の縄張りで演じるなどありえない事でしたが、宇野さんだからこそ実現できた試みでした。



「岩見重太郎の大蛇退治」

私にも黒田の方たちにも初めてのことで、四国の田舎から出てきた若造（私のことです）がいったい何をするんだと、舞台の中には厳しい空気が澱んでおりましたが、西畑人形「岩見重太郎の大蛇退治」を演じ終えた後、「なかなかやるな」と言っていただいたのは忘れられない思い出です。私の人形にかける思いが伝わったのだと感じました。近年、人形劇の舞台は多種多様ですが、人形劇なんだから人形に拘り続けたいと、あの頃から変わらず想い続けています。

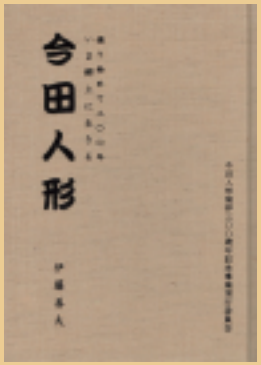
次号は、和気瑞江さんです

Library Cafe　飯田とつながる世界の人形劇図書資料から⑬

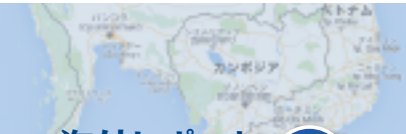
『今田人形 操り始めて300年 いま郷土に生きる』 伊藤善夫著

飯田市美術博物館刊『伊那谷の人形芝居かしら台帳目録』(1991)『文書目録編』(1997)に続く、今田人形300年を俯瞰する記録報告集。著者は地元民放の飯田支局赴任で、たまたま伊那谷の人形芝居を知り、当初は浄瑠璃を聞いても「これも日本語なのか」とさえ思ったという、だからこその並の研究者でない視線が、何よりも読みやすく、分かりやすく、人々の息吹さえ伝わってくる、稀有な研究報告書なのだ。一緒に活動した今田人形座の木下迪彦氏へのオマージュともいえ、この人たちが関わってきた伊那谷の人形芝居はなんと幸せなのだろうかと思える大著である。

（人形劇の図書館館長・潟見英明）



今田人形発祥300周年記念事業実行委
2004　751頁



海外レポート カンボジア編

カンボジア大型影絵芝居 スバエク・トム

飯田文化会館 人形劇のまちづくり係 北林克己

スバエク・トムはアンコール遺跡で知られるシェムリアップに伝えられる大型影絵芝居。今回、高校生のスタディツアー一行と一緒に、シェムリアップ郊外のティー・チアン一座を訪問しました。

屋外の上演会場に設置された巨大なスクリーンの後ろにはヤシ殻を燃やしたかがり火があり、これが光源となります。公演は神への祈りの儀式から始まります。続いて伝統的な音楽とクメール語の語り。演目はラーマーヤナのカンボジア版「リアムケー」の一部。

燃える炎によって映し出される人形は美しく精細。この芸能が独特なのは、スクリーンの前でも人形が遣われること。俳優たちは身体を見せながら、ときに激しく、ときに繊細に人形を遣い、観客を魅了します。約1時間のダイジェストでしたが、この芸能を復活させ、昔のままに守り続ける若者たちの力を感じる公演でした。

幅10m、高さ4m以上もある巨大なスクリーンの前後を使って演じられる。日本語字幕付きで「リアムケー」の物語も無理なく楽しめる

スバエク・トムは、古くは寺院の祭礼などで上演された神聖な芸能で、今でも上演の前には必ず神々への祈りの儀式が行われる

2016年度受講者大募集! 人形劇講座

いいだ人形劇センターはさまざまな講座を開催。創る"わくわく"を体験しよう!

人形劇を始めませんか 初級コース

初めての方対象。作品選びから人形づくり、上演までを体験します。グループでの参加も大歓迎です。

- 期間／5月12日(木)～9月上旬。毎週木曜、全15回予定
- 時間／昼の部13:00～15:30 夜の部19:00～21:30
- 料金／月1,000円
- 定員／昼夜各10人

もう一歩上を目指したい方 基礎レッスン

人形劇や演劇の経験者対象(高校生以上)。年間を通して舞台に立つための身体訓練に取り組みます。

- 講師／ましゅ&Kei ほか
- 期間／通年。月2～4回、木曜または金曜夜
- 料金／月2,000円(学生1,000円)

新作をつくりませんか 中級コース

新作のプランがある劇団も、ノープランの劇団も大丈夫。新作づくりをお手伝いします。飯田市で創作活動が可能な劇団、サークル、個人の方ご参加ください。

- 期間／5月中旬～9月上旬。週1回予定
- 時間／昼の部13:00～15:30、夜の部19:00～21:30
- 料金／月1,000円

高校生・短大生・大学生・専門学校生のみなさん ユースクラブを新設します

「人形劇を創る」ことはもちろん、そのための準備やそれ以外のことにもたっぷり時間をかけるのが、ユースクラブの特徴です。人形劇を創る時に突き当たるいろいろな壁を、さまざまな体験を通して乗り越えていく、そんなプログラムを考えています。
主任講師は、くすのき燕さん。一緒に人形劇とそれを取り巻く世界のおもしろさを味わってみませんか。

日本ウニマ通信 世界みてある記⑤

事務局長●松澤文子

バルナ人形劇場

ブルガリアは人形劇の盛んな国であると同時に、日本と人形劇の交流が深い国です。首都ソフィアにある「国立演劇・映画芸術学院」は日本からの3人の留学生が卒業し、竹田人形座の竹田扇壽さんは今まさに留学中です。

バルナは黒海に面したブルガリア第3の都市で、市の中央にバルナ人形劇場はあります。1952年創立の歴史ある劇場で、130人収容の人形劇場、ミュージアムを備えたすてきな人形劇場です。劇団員は40人、うち17人が役者、23人はスタッフです。劇場の中に食堂があり、劇団員が自由に出入りして食堂のおばちゃんの作ってくれる昼食を食べたり、コーヒーを飲みながら打ち合わせや、軽い稽古をしたり。「ここから人形劇が生まれるんだ!」と、とても感動しました。

3年に1度開催されるGolden Dolphin人形劇フェスティバルは、国内外から人形劇団が集まり、コンペ方式で行われます。最終日にはいろいろな賞の発表があり、Golden Dolphin賞はもっとも権威ある賞です。日本公演も、プーク人形劇場さんの招聘で何回も行っています。手の影絵「動物の謝肉祭」の圧巻のステージをご覧になった方もいると思います。また日本で観られることを願っています。

バルナ人形劇場の外観

夜もすてきなバルナ人形劇場

バルナ人形劇場の内部